

# 形原みらい工房

～形原の学校と地域の未来を考える～

2026.3.25

形中  
1年

地域芸能

## キャラボコ体験授業



2/18 (水)、形中1年生が拾石キャラボコ太鼓保存会から10名の講師をお招きし、体験授業を行いました。

昔、徳川家康が岡崎から駿府へ人質として送られる際、船出の港であった蒲郡で耳にした太鼓の音が「キャラボコ」と聞こえたのが名前の由来となっているそうです。

保存会のみなさんが演舞を披露すると、生徒たちはその迫力に圧倒されていました。

その後、生徒は竹で作られたバチを持ち、「チャンチャン、キャラボコキャラボコ・・・」と音の響きをそのまま楽譜にしたものにあわせて、段ボール箱を叩いて練習したり、実物の太鼓で演奏したりする貴重な体験をしました。

この活動を続けた結果、地元の祭りで叩いたことがある生徒も少しずつ増えてきました。また、保存会の西川会長が中心となり、「蒲郡市キャラボコ太鼓保存連合会」を立ちあげました。市全体でもキャラボコが盛り上がりつつあります。

多くの生徒たちが、伝統芸能のキャラボコを引き継いでくれることを願っています。

1/9 (金) から形中1年生が家庭科の授業で、地域の方にサポートいただきながら、「ファイルカバー」を制作しました。

生徒たちは積極的に質問し、地域の方から、まつり縫いやボタン・スナップ付けなど難しい作業を優しく、わかりやすく教えていただきました。

地域の方からは、「友達同士で教え合いながら作業している姿が素敵でした」とお話がありました。また、完成した作品を地域の方にうれしそうに見せる生徒の姿もありました。

形中  
1年

## ファイルカバーづくり



形北  
2年

# 昔からの地域のおやつ油菓子づくり



2/5 (木)、2年生が『まめだ会』さんを講師としてお招きし、油菓子づくりをおこないました。

油菓子を初めて作ったり、食べたりする子どももいる中で、手綱ひねりの作り方を体験しました。

生地は朝から保護者ボランティアさんが、子どもたちのために準備をしてくださいました。また、子どもたちが一生懸命に作った手綱ひねりの生地を、丁寧に揚げていただきました。

揚げたての油菓子を口にしたら子どもたちからは教室いっぱい『おいしい!!』という大きな声があがりました。

『まめだ会』さんよりいただいたレシピを基に、おうちの方と早速油菓子づくりをした子もいました。地域のことを知る貴重な体験ができました。



形中

## 第3回 昼放課の勉強会



2/9 (月)～10 (火)、形原中協働本部で、第3回「昼放課の勉強会」を開催しました。

2日間でなんと12名もの学生が、ボランティアに参加してくれました。

問題を質問する生徒、大学生と談笑する生徒のほかに、この春入学する高校の先輩に、高校生活の不安を相談し、アドバイスをもらう3年生の姿がありました。

年代の近い学生に、勉強だけでなく、自分の近い将来についての相談ができる貴重な時間となりました。



### ＜学生サポーター＞

【2/9】 中野渡幸菜 青山裕哉 富澤奏 渡辺莉子 牧野ほの香

【2/10】 青山裕哉 富澤奏 大野田裕人 近藤快晴 神谷悠斗 牧野ほの香

【文責 生涯学習課 形原地区地域学校コーディネーター 櫻間寿人】